

製品名: リン酸化 c-Jun (Ser63) ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab00710

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200
分子量	Calculated MW: 36 kDa; Observed MW: 48 kDa

抗原情報

遺伝子名	JUN
別名	Transcription factor AP-1; Activator protein 1; AP1; Proto-oncogene c-Jun; V-jun avian sarcoma virus 17 oncogene homolog; p39
遺伝子 ID	3725
SwissProt ID	P05412
免疫原	標的タンパク質の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

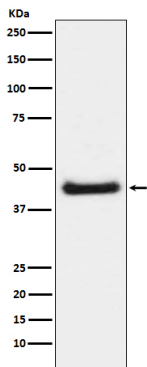
背景

c-jun は、エンハンサーヘプタマーモチーフ 5'-TGA[CG]TCA-3'を認識し結合する転写因子です。HIPK3 によってリン酸化されると NR5A1 の活性を促進し、cAMP シグナル伝達経路の刺激によるステロイド産生遺伝子の発現増加につながります。

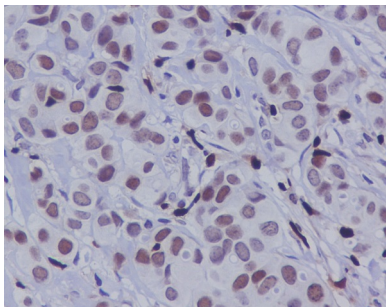
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

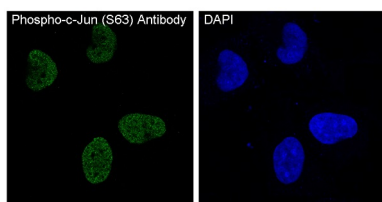
画像データ



アニソマイシン処理した NIH/3T3 溶解物中の c-Jun リン酸化を、Phospho-c-Jun (Ser63) 抗体を使用してウエスタンブロット分析しました。



パラフィン包埋ヒト乳癌の Phospho-c-Jun (S63) 抗体を使用した免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



アニソマイシン処理した HeLa 細胞中の Phospho-c-Jun (S63) 抗体を用いた Phospho-c-Jun (Ser63) の免疫蛍光分析。